

平成30年度実績に係る部局評価書

部局名:知的基盤総合センター

【評価区分1】 部局評価計画に対する 達成状況評価	【評価区分2】 「全学的に重視する指標」 に係る実績評価	【総合評価】 評価区分1及び 評価区分2に係る評定
S	A	S

【評価区分1:部局年度計画に係る自己評価に対する項目別評価】

項目	評定	コメント(評定に至った主な理由)
【教育】	A	平成30年度計画の達成状況が良好である。
		知的財産に関する内容を他研究科の科目の一部として共同開講するなど、部局のニーズに柔軟に対応した取組が認められる。
【研究】	A	平成30年度計画の達成状況が良好である。
【社会貢献】	S	平成30年度計画の達成状況が優れている。
		学習指導要領に知財創造教育が含まれたことを踏まえ、近畿地方の高校生などに対する授業の実施や、大阪教育大学が実施する教員免許更新講習における知財創造教育関連の講義への協力などを行ったことが評価できる。
【グローバル化】	A	平成30年度計画の達成状況が良好である。
【業務運営】	S	平成30年度計画の達成状況が優れている。
		他部局からの産学連携に関する15件の相談を受け付けたこと、産学共創本部と連携し、本学職員を対象とした知的財産管理に関する技能検定の国家試験の研修や知的財産の基礎、先行技術の調査等を内容とする研修を行ったこと、新たに本学発ベンチャーに対する法的支援を開始したことが評価できる。

【評価区分2:「全学的に重視する指標」に係る実績評価】

【評価コメント】
 常勤教員一人当たりの論文数について、積極的な取組により、実績を大きく伸ばしていることが評価できる。
 また、外国籍教員の割合について、積極的な採用に努めることで実績を伸ばし、大学実績に大きく寄与していることが評価できる。